

板野町総合戦略評価シート

(評価対象年度: 令和5年度)

作成者: 板野町総務課

【評価シートについて】

○この評価シートは、令和2年3月に策定した板野町第二期総合戦略に位置づけられた施策について、KPI等により評価・検証し、必要に応じた総合戦略の評価等を実施するために作成したものです。

○事業内容と進捗状況・課題欄には、主な取組の成果や課題等を記入しています。

○今後の取組方針欄には、次年度以降の施策の取組方針を記入しています。

○自己評価欄は、R5年度の取組内容と進捗状況により、R5年度における施策の担当課における自己評価を記入しています。

自己評価の基準	A: 事業内容は適切である B: 事業内容は適切だが、課題が少しあり、事業の一部見直しが必要 C: 課題が多く、事業やKPIの大幅な見直しが必要 D: 事業の休・廃止を含めた検討が必要
---------	---

全体評価	施策数: 35項目 A評価: 10項目 B評価: 23項目 C評価: 2項目 D評価: 0項目
------	---

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
1 観光魅力の強化による交流拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業 ・あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続 ・常設ウォーキングコースの整備 ・ウォーキングラリーの実施 ・ガイド倶楽部の創設 ・「へんろ文化」の再生事業 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 （あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続） 例年産業課で地産地消部門として、飲食ブース等の出店をしているが、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行したものの開催ができていない。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況にもよるが今後も出店ブース等の継続とさらなる内容の充実を図っていく。</p> <p>（「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業） 新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行したものの、一般的にイベントは中止となった。一部のイベント等で町のPRは実施してきたものの事業として、関連できていない。</p> <p>（ガイド倶楽部の創設） ガイド倶楽部の創設はしたものの、活用までには至っていない。</p> <p>【課題】 （あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続） 新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行後、コロナ前に開催していた参加者がどれだけ呼び戻せるかが課題である。</p> <p>（「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業） コロナ禍で活動を抑制していた人たちを新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行後、動き出した人の流れをどのようにイベントと関連して町中へ誘導できるかが課題である。</p> <p>（ガイド倶楽部の創設） ガイド倶楽部の有効活用を検討していく必要がある。</p>	<p>（「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業） 新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行し、コロナ前の状況に戻りつつあるので、今後はあさんウォーキングフェスティバルや新規の関連イベント等で町のPRを実施していく。</p> <p>（あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続） 新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行し、人の流れもコロナ前に戻りつつあるので、今後も出店ブース等の継続と更なる内容の充実を図っていく。</p> <p>（ガイド倶楽部の創設） 活動するメンバーを再確認する必要がある。</p>	産業課 教育委員会	B

基本目標1 新しい人の流れづくり

1 観光魅力の強化による交流拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業 ・あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続 ・常設ウォーキングコースの整備 ・ウォーキングラリーの実施 ・ガイド倶楽部の創設 ・「へんろ文化」の再生事業 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 (あさんウォーキングフェスタの充実・継続) ・新型コロナウイルス感染症が2類から5類の移行となったが、大規模集客イベントのため、安全性を考慮し開催できていない。</p> <p>・板野町・あすたむらんど徳島・大塚製薬(株)徳島板野工場・徳島スポーツビレッジの官民一体となり町PRを目的としたウォーキングイベント。</p> <p>・多世代が楽しめるようにウォーキング以外にもゲストトークショー、キャラクターショー、地産地消ブースとして飲食店等の出店も行っている。</p> <p>(常設ウォーキングコース) ウォーキングの町いたのとして県内外からの参加者にいつでも歩いて頂けるようあさんウォーキングフェスタ10kmコース(一部除く)をモデルコースとして整備・あさんウォーキングフェスタホームページに掲載し活用頂けるようにしている。</p> <p>【課題】 (あさんウォーキングフェスタの充実・継続) ・「環境」と「健康」をテーマとするイベントのため、新型コロナウイルス感染症対策と集客をどのように両立させるのか検討。</p> <p>・イベントを通じて町をより知って頂くための情報発信方法の検討。</p> <p>(常設ウォーキングコースの整備) ・ウォーキングを楽しめるよう、安全で安心なコースの検討。</p> <p>(ウォーキングラリーの実施) ・コースの設置の検討及びイベントの方法の検討。</p>	<p>(あさんウォーキングフェスタの充実・継続) ・感染症対策を図りながら事業継続とともに多くの方に町をより知って頂く機会を増やし、効果的な取組になるよう図る。</p> <p>(常設ウォーキングコースの整備) ・財政的なことや費用対効果を検証しながら今後検討をしていく。</p> <p>(ウォーキングラリーの実施) ・検討していく。</p> <p>(「へんろ文化」の再生事業) 世界遺産登録へ向け、関連自治体と協力しながら推進をしていく。</p>	産業課 教育委員会	B				
											<p>【KPI】 ○町内滞留人口</p>	<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>113.2万人</td> <td>113.2万人</td> <td>113.2万人</td> <td>113.2万人</td> <td>113.2万人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>49.2万人</td> <td>93.5万人</td> <td>104.2万人</td> <td>125.7万人</td> <td></td> </tr> </table>	目標値	113.2万人
目標値	113.2万人	113.2万人	113.2万人	113.2万人	113.2万人									
実績値	49.2万人	93.5万人	104.2万人	125.7万人										

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
2 観光と他産業・他部門等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値を付けた野菜直売所・収穫体験の場の整備 徳島ヴォルティス支援と交流促進事業（小・中・高一貫のサッカー教育） 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 （付加価値を付けた野菜直売所・収穫体験の場の整備） 道の駅がオープンしてから3年が過ぎ、令和5年度の直売所を含めた全体での売上が約8.4億円、レジ会計数が約45万3千人であった。</p> <p>（徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） 例年板野町民デーや徳島県民デーで、町内の団体等に協力を頂き出店をしたり、抽選会の商品を提供している。また、新型コロナウイルスの影響で中止していた、町内のヴォルティス支援団体とのホームゲーム観戦ツアーや町内の小学生とクラブ選手とのホームタウン交流会も実施した。</p> <p>【課題】 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） 町内のヴォルティス支援団体の会員増や試合での来場者の増加をどのように図るかが課題である。 延期していたあさんウォーキングフェスタの再開に伴い、あすたむらんど来園者がヴォルティスサッカー教室に参加できるよう、受付場所等の周知や、開催時間等の調整が必要である。</p>	<p>（付加価値を付けた野菜直売所・収穫体験の場の整備） オープン後、3年の実績を踏まえ、新しい品種の野菜の生産等さらなる付加価値をつけた商品を出店していく。</p> <p>（徳島ヴォルティス支援等） 新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行したが、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、町内の支援団体とともに引き続き徳島ヴォルティスを支援し、徳島ヴォルティスのファンや会員を増やしていく。</p>	産業課 教育委員会	B
	<p>【KPI】 ○板野町観光推進協議会開催回数</p>	目標値	1回	1回	1回	1回	1回		産業課	
		実績値	-	-	-	-				

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
3 道の駅整備による拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ★地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備 ★観光案内所の設置 ★水素ステーション・EV急速充電器の整備 ★発災時支援活動拠点と避難所機能の整備 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素ステーションについては、令和4年4月15日より本格稼働となっており、令和5年度についても、週3日間の継続稼働している。 ・EV充電器については、現在のところ2台が稼働中となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素ステーションについては、令和4年4月15日より本格稼働しているが、特に問題なし。 <p>【R5取組内容】</p> <p>（地元産直品を活かした物産センター・レストランの運営）</p> <p>道の駅がオープンしてから3年が過ぎ、令和5年度の直売所を含めた全体での売上が約8.4億円、レジ会計数が約45万3千人であった。</p> <p>（観光案内所の運営）</p> <p>道の駅開駅後、3年が過ぎ、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行したことで、観光案内所も多くの方に利用いただき、順調に運営ができています。</p> <p>【課題】</p> <p>（地元産直品を活かした物産センター・レストランの運営）</p> <p>物産センター・レストランの整備後、順調に運営をしているが、隣接するホテルの宿泊者をどのように道の駅へ招き入れるかが課題である。</p> <p>（観光案内所の運営）</p> <p>観光案内所の整備後、順調に運営をしているが、隣接する開業したホテルとの相乗効果をどのように活用していくかが課題である。</p> <p>【R5取組内容】</p> <p>（防災道の駅等に関する行政視察等受入による防災情報交換及び関係性の構築）</p> <p>徳島県内外から行政視察等の受入による防災道の駅の取組を発信するとともに他市町村の取組内容等についても情報交換を行い関係性の構築を図った。</p> <p>また、地元住民・団体、小学生から高校生まで施設見学の受入を行うことで、町民の防災意識の向上を図った。</p>	<p>運営事業者の東亜合成（株）と協力して、利用率向上の取り組みをする。EV充電器の増設については、EV自動車の普及状況により検討する。</p> <p>（地元産直品を活かした物産センター・レストランの運営）</p> <p>オープン後、3年の実績を踏まえ、物産センターの商品をより多く取り扱うなど地元産商品の充実を図っていく。また、隣接する開業したホテルとの相乗効果を図っていく。</p> <p>（観光案内所の運営）</p> <p>チラシやパンフレットの数や内容を充実していく。</p> <p>（発災時支援活動拠点と避難所機能の整備）</p> <p>支援活動拠点として十分機能するよう改善点を洗い出すとともに、産学官民と平時から顔の見える関係づくりを行い有事の際は迅速な応援・受援が行えるよう取り組んでいく。</p>	建設課 産業課 総務課	B

基本目標1 新しい人の流れづくり

【KPI】 ○産業振興・観光・防災・地域福祉の総合拠点施設形成による買い物客数	目標値	—	31.2万人	31.2万人	31.2万人	31.2万人		建設課 産業課	
	実績値	—	383,230人	394,102人	453,090人				
【KPI】 ○地域振興施設(産地直売所・加工施設・農家レストラン・軽飲食施設等)の売上げ(想定カウント方法)売上額をそのまま計上する	目標値	—	65,000千円	393,248千円	400,000千円	400,000千円		産業課	
	実績値	—	630,012千円	697,170千円	836,530千円				
【KPI】 ○地域振興施設(産地直売所・加工施設・農家レストラン・軽飲食施設等)利用者による交流人口増加数(想定カウント方法)町内客と町外客の区別ができるポイントカード配布	目標値	—	12,000人	73,000人	78,000人	78,000人		産業課	
	実績値	—	290,761人	281,513人	317,470人				
【KPI】 ○地域振興施設利用者によるあせび温泉利用者数(想定カウント方法)地域振興施設での買い物を証明するレシートをあせび温泉へ持参した方に、温泉利用料を割り引くなどの特典を得た人数	目標値	—	1,200人	7,300人	7,800人	7,800人		産業課	
	実績値	—	4,204人	10,606人	12,985人				

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
4 整備及び積極的な情報発信	★板野町のイメージ形成とPR強化（SNSを含む）	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 道の駅運営期間中も引き続き新聞各社や放送局各社等のマスコミ、観光関連のガイドブック、また各機関が発行する冊子等で道の駅等のPRをした。 【課題】 道の駅を中心とした板野町のPRをSNS上で充実できるかが課題である。	今後も引き続き新聞・放送局各社等のマスコミや観光関連のガイドブック、執筆等を通じ道の駅を中心としたPRを充実していく。	産業課	B
	【KPI】 ○町PR動画作成によるホームページアクセス数	目標値	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件		産業課	/
	実績値	-	-	-	-	-			産業課	
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
5 情報発信機能の強化	・徳島県出身者にターゲットを絞った情報発信の強化（SNSを含む）	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 現在、板野町に移住したいと思ってもらえるよう埋もれている地域資源を掘り起こし、団塊の世代や若者等のU・Iターン希望者に対して居住・就労・生活支援等に係る情報提供や相談についてワンストップで対応する窓口を開設するなど田舎での健康的な生活の場、自己実現や社会還元を図る場を提供している。 【課題】 移住者の相談窓口を開設しているが、移住者の増加に反映できていない。	移住が「普通の選択肢の一つ」になるよう移住希望者に今後も情報を提供し、移住定住促進に取り組む。	産業課	B
	【KPI】 ○「帰って来んでPR動画」ホームページアクセス数	目標値	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件		産業課	/
	実績値	-	-	-	-	-			産業課	

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
6 町出身者学生のUターン促進	★町独自の奨学金の創設とUターン者への返済免除	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返還の期間内（高校8年、大学10年）に板野町に住民登録を有し、かつ居住し、世帯に町税等の滞納がないとき、奨学金等の全部または一部を免除する。ただし、1年ごとに免除申請届が必要で、免除額は届出のあった1年分ごと。 ・新制度創設に伴い所得認定基準を緩和（H27までは生活保護基準の1.3倍→H28から1.5倍→H29から1.6倍） ・H28年度以降、毎年、貸与申請者は一定数おり、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。 ・高校または大学を卒業後、町内への定住やUターンをするきっかけとなっており、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。 ・R2年度の返還免除者8名。R3年度の返還免除者10名。R4年度の返還免除者10名。R5年度の返還免除者11名。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請があっても、所得認定基準を超えているため不認定となってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続していく。 ・地元の中学校、高等学校へ募集案内のチラシを配付し、奨学金担当教諭と連携をとり、周知に努める。 	教育委員会	A
	【KPI】 ○町独自の奨学金制度における定住を理由とした返還免除数	目標値	3人	3人	3人	3人	3人		教育委員会	/
		実績値	8人	10人	10人	11人			教育委員会	
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
7 里帰り促進	・孫世代の「里帰り」訓練の場としての「大坂分校」の夏季学級の開校	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】</p> <p>取組なし</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季学級の内容や期間をどのように魅力あるものにするのか。 ・県外に進学や就職をした方の追跡調査や帰省の状況等。 ・多数の人に参加してもらえるような周知方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践例や類似例があれば、参考にしながら事業を進めて行くとともに、板野町を良い町と感じてもらえる、効果的な取組になるよう努める。 ・都市圏等の県外に進学をした方が自然と触れ合える環境を求めて、Uターンや移住を考えて頂けるような充実したプログラムの作成や効果的な情報発信を検討する必要がある。 	教育委員会	C
	【KPI】 ○「里帰り」孫世代夏季学級体験者数	目標値	1人	1人	1人	1人	1人		教育委員会	/
		実績値	0人	0人	0人	0人			教育委員会	

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
8 移住の受け入れ環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ★他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応県産材を利用した住宅の整備 ・他市町村（県外）からの転入者の居宅新築等の補助金制度 ・税制度の優遇の創設 ・リタイアメント者を対象にした住まいと仕事の斡旋等の受け入れ体制整備 ・地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 平成27年度に購入していた平田団地に隣接する土地について、平田団地の駐車場不足解消のため、駐車場として整備したことによる建設用地の取得は出来ていない。</p> <p>【課題】 近年は、民間事業者の宅地分譲開発が多数あり、町独自で建設用地を取得することが難しい。</p> <p>【R5取組内容】 （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 検討したが、町に見合う事業は無かった。</p> <p>【課題】 （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 地域おこし協力隊の任用</p>	<p>移住者が建設出来る用地を確保して、転入者が活用出来る居宅建設等の補助金制度や固定資産税等の優遇制度を検討する。</p> <p>（地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 本町に見合う事業で、地域おこし協力隊が必要と判断されれば、検討していく。</p>	建設課 産業課	B
	<p>【KPI】 ○子育て世代（転入者対象）住宅整備数</p>	目標値	—	—	—	—	1棟		建設課	
		実績値	—	—	—					

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
9 農業力の強化による雇用力の増強	<ul style="list-style-type: none"> 農業法人（個人事業等）の促進による若者の人材育成 企業・JA・金融等の連携による経営・収益力の向上 ブランド化のための地域一体となった取り組み 生産者キャラの情報発信の強化 	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 認定農業者向けに税理士による税研修会（年1回）及び町内農業者向けに徳島県農業会議の協力により農業簿記教室（月1回程度）を実施し、税への知識を深め人材育成を行っている。 ・板野町の基幹作物であるにんじんを利用したドレッシング、そうめん等の開発、販売に取組みブランド化を推進している。 【課題】 ・認定農業者への農地の集約を進め、更なる法人数の増加に努める事が必要。	・引き続き税の講習会等を行い、税に対しての農業者の知識向上に努め、法人化に対する意欲を高める。	産業課	B
	【KPI】 ○農業法人数	目標値	8法人	8法人	8法人	8法人	8法人		産業課	/
		実績値	10法人	11法人	11法人	14法人				
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
10 農業後継者対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 農業後継者育成事業 体験農業型の県外者受入促進（定住促進） 	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 ・年1回農業者の研修として、農機具メーカーや種苗メーカー等を訪問し農業に対する知識を深め後継者の育成を行っている。 ・随時新規就農の相談は受け入れし後継者となるべく人材の就農支援を行っている。 【課題】 ・新規に就農する人もいるが、加齢により農業を廃業する人はそれ以上に多く、全体としては農業者の減少傾向にある。	・引き続き研修及び、相談受入れ等を行い、後継者の育成や就農支援に努める。	産業課	B
	【KPI】 ○農業後継者数	目標値	70人	70人	70人	70人	70人		産業課	/
		実績値	50人	55人	55人	59人				

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
11 新規就農者の受け入れ体制の充実	・県外からのインターンシップ受け入れによる新たな雇用づくり	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 ・新規就農者の受け入れ体制の充実として、随時相談窓口を開いている。インターンシップの受け入れに関して、徳島県や農業会議などで実施している研修などを随時活用していく。 【課題】 ・新規就農者数は微増である。板野町で農業ができる環境作りが必要。	・引き続き研修及び、相談受入れ等を行い、後継者の育成や就農支援に努める。	産業課	B
	【KPI】 ○新規就農者数	目標値	2人	2人	2人	2人	2人		産業課	/
		実績値	1人	1人	0人	1人			産業課	
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
12 六次化産業への取組	★ニンジンドレッシングのブランド化と全国販売 ★新たな六次産業化の素材研究と販路開拓への取組 ・金融機関との連携による六次化ファンドづくり	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 ・地方創生推進交付金を活用し、徳島県と7市町でとくしま六次産業化推進連携協議会を設置。協議会において、開発した商品の発信を行っている。 【課題】 ・開発した商品のブランド化を見込んだ販路拡大方法が課題である。	・開発した商品のブランド化を目指すため、地場農産物と併せて全国発信を行う。	産業課	B
	【KPI】 ○地元企業の特産品開発数	目標値	—	—	—	—	2種類以上		産業課	/
		実績値	1種類	3種類	0種類	1種類			産業課	

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
13 地産地消の推進	★地元商店と地場農産物とのコラボ商品の開発 ★給食センターにおける地産地消の推進 ・高齢者健康寿命対策健康食開発研究事業	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 ・H28年度に地方創生加速化交付金を活用し板野町ふるさと味づくり研究会に委託し、地場農産物をふんだんに使った高齢者向け弁当の開発。 R5年度も、開発した弁当の提供を随時行っている。 【課題】 開発した弁当を町民に広く浸透させる必要がある。 【R5取組内容】 ・町内農家に出向き、農産物の納入を依頼 ・見積条件に県内産(町内産)と記載 ・旬の食材の献立を多く取り入れ、町内産の農産物を積極的に活用 【課題】 ・町内産で賄えるものが限られているため、地場農産物の使用率の上昇は望みにくい ・天候不順等による農産物の不作のため、安定供給が困難な場合もでてきている ・高齢化等により休止・廃止する農家・業者もでてきており、今後集約される可能性もある	・今後もさらに地場農産物をふんだんに使用したメニューの開発を行っていくとともに、安定した提供が行えるよう他企業との連携も行っていく。	産業課 教育委員会	B
	【KPI】 ○商品開発企業連携数	目標値	—	—	—	—	2業者以上		産業課	
		実績値	0業者	0業者	0業者	0業者				
	【KPI】 ○学校給食センター食材地元業者購入	目標値	13店	13店	13店	13店	13店		教育委員会	
		実績値	10店	11店	12店	11店				
【KPI】 ○健康食開発・地産地消レストランメニュー開発数	目標値	—	—	—	—	10種類以上		産業課		
	実績値	0種類	0種類	0種類	0種類					
【KPI】 ○介護保険認定率	目標値	21%未満	21%未満	21%未満	21%未満	21%未満		福祉保健課		
	実績値	20.3%	20.3%	20.3%	19.7%					

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
14 企業誘致の促進	・町有地の未利用地を活用した企業立地の誘導 ★サテライトオフィス等の誘致	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 ソフトパークの第一区画が未利用地となっているが、南海トラフ地震に備え、災害発生時には、避難所の設置や災害廃棄物の仮置き場等に使用するため、販売は行っておらず、現在はソフトパーク誘致企業に敷地を短期貸し出しをしている。 また、流通業者1社と宿泊業者1社を誘致し、他にも自動車メーカー1社と農産物加工業者1社の誘致合意を得ている。 【課題】 道の駅北側の町有地に優良企業の誘致を図り、ホテルが開業したが、今後どのようにホテルとの相乗効果を図るかが課題である。	道の駅北側の町有地に誘致したホテルが開業したが、開業後に道の駅と連携して相乗効果を図っていく。	産業課	A
	【KPI】 ○サテライトオフィス・コールセンター等情報関連産業誘致数	目標値	－	－	－	－	1社		産業課	
		実績値	0社	0社	0社	0件				
	【KPI】 ○民間活力を利用した企業立地件数	目標値	－	－	1社	－	1社		産業課	
	実績値	0社	1社	0社	2社					
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
15 立地条件を活かした新たなビジネス展開	・ICT等の利活用による地域の活性化 ・スポーツ合宿等を含めた宿泊施設の立地誘導 ・交通条件を活かした流通業の立地誘導	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 （交通条件を活かした流通業の立地誘導） 交通条件を活かした流通業社1社を誘致することができた。 【課題】 （交通条件を活かした流通業の立地誘導） 現在も流通業界の進出意向を十分把握できていない。 【R5取組内容】 田園パークやスポーツビレッジ等、各町内施設活用を促進し、スポーツ合宿等含め、町外住民を呼び込むことで中長期間滞在において町内の魅力を発見できる足掛かりとなるよう宿泊施設の立地誘導に取り組む。 【課題】 宿泊施設の立地誘導に向け、期間及びどのような内容・順序立てを行うか検討する必要がある。	（交通条件を活かした流通業の立地誘導） 今後引き続き流通業の進出意向を把握し、更なる立地を進める。 実践例や類似例があれば、参考とし事業を進めていくとともに板野町の魅力を感じてもらえるよう効果的な取り組みになるように努める。	総務課 教育委員会 産業課	B
	【KPI】 ○ICTまちづくり推進事業協力機関数	目標値	－	－	－	－	1社		総務課	
		実績値	0社	1社	0社	0社				

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
16 婚活支援	★カップリングパーティー（多様な職種の男女の出会い）の開催	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 令和2年度、3年度、4年度については新型コロナウイルス感染症等の拡大防止の観点から中止となっていた。令和5年度の婚活事業実施にあたり、過去の事業実績などについて町長と協議を行った。</p> <p>結果 ①事業実施にあたり参加者が集まらない。 ②過去5年間の婚姻数実績2組と事業効果が薄い。 ③例年事業実施していたあすたむらんど徳島四季彩館が使用不可となった。 などの理由より、令和5年度からは町の事業としてカップリングパーティーは実施しないこととなった。</p> <p>【課題】 -</p>	-	産業課	C	
	【KPI】 ○30歳未満婚姻者数	目標値	50人	50人	50人	50人	50人		住民課		
		実績値	47人	29人	38人	32人					
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
17 出産支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学・高校生の将来ライフプランの教育充実 ・ 0歳児に対する各種費用の全額助成 ・ 乳幼児の身近なサポート体制の充実 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 ・ ライフプラン教育を通じて夢や目標を持って生きること、それを実現するために努力することの大切さを知る。また、生きる力を育む。</p> <p>【課題】 ・ 生徒が学ぶこと・働くことの意義を理解し、本人が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことのできるようにしていくことが重要。</p> <p>【R5取組内容】 医療費は、子どもはぐくみ医療で全額助成 子育て相談窓口を広報等により発信。サポート体制の周知促進。 子ども家庭総合支援センターを令和4年4月に開設し、相談体制の充実を図っている。 令和5年1月から出産祝金の支給開始</p> <p>【R5取組内容】 ○進路相談・支援: 2件 ○特定妊婦に対する相談・支援、関係機関との情報共有と連携: 2件</p> <p>【課題】 ○児童虐待、不登校、貧困など子どもを取り巻くいろいろな問題に幅広く対応するため、職員の専門性をさらに高める。また、多種多様な関係機関とのスムーズな連携を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフプラン教育を充実させるとともに、低学年や小さい頃からのキャリア教育により、児童生徒にとって意義深いものとなるよう努める。 	<p>継続実施</p> <p>引き続き取り組む</p>	教育委員会 住民課 子ども家庭総合支援センター	A
	【KPI】 ○出生数	目標値	100人	100人	100人	100人	100人		住民課		
		実績値	82人	74人	71人	85人					

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
18 子育てに対する経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★多子世帯への保育料・幼稚園授業料の軽減 ★町立幼稚園及び町立保育園の給食費・副食費完全無償化・学校給食費の半額補助 ★町立幼稚園授業料及び町立保育園保育料の完全無償化 ★義務教育終了までの医療費無料化、18才の年度末まで1レセプト600円以外の医療費無料化 						<p>【R5取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月以降に出生した子どもに、出産祝金として、10万円給付。 <p>【保育料の無償化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年10月より、第1子からの町立保育園の保育料の無料化を実施。 ・R1年10月より、町立保育園及び町立幼稚園の給食費の無料化を実施。 <p>【医療費の無料化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳年度末までの医療費無料。H31年4月より義務教育終了後は1レセプト1月600円を超える額を助成。(R6年度からすべて無料化) 	継続実施	住民課 教育委員会	A	
		推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年4月より、第1子からの幼稚園の授業料の無料化を実施。 ・R1年10月より、町立保育園及び町立幼稚園の給食費の無料化を実施。 ・父母、子ともに板野町に住民登録を有し、居住していることが無料化の要件。 ・幼稚園預かり保育についても、利用料は無料。 ・令和5年4月より、小中学校等へ入学する児童生徒に、1人につき1万円を入学祝金として、給付開始。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸住宅に転入した場合は、一時的なものであったり、定住につながるかはわからないが定住に繋がるよう施策等の構築が必要。 	継続実施			
		目標値	30人	30人	30人	30人	30人				
	【KPI】 ○子育て世代転出数 ○子育て世代転入数	実績値	32人	32人	26人	32人					
		目標値	50人	50人	50人	50人	50人				
	実績値	25人	34人	36人	41人			住民課			

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
19 就学前幼児教育・保育の充実	★新制度未移行幼稚園、特別支援学校、預かり保育事業、認可外保育施設等の利用について3才から5才と、0才から2才までの住民税非課税世帯の子どもの利用料が令和元年10月から無償化						【R5取組内容】 子ども・子育て支援法に基づき、認可外保育施設については3～5歳児は月額37,000円を上限に無償化。住民税非課税世帯の0～2歳児については、月額42,000円を上限に無償化(国施策)	継続実施	住民課 教育委員会	A	
			推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 子ども・子育て支援法に基づき、新制度未移行幼稚園については月額25,700円を上限に無償化。幼稚園の預かり保育については、保育の必要性の認定を受けた場合、幼稚園に加え、利用実態に応じて月額11,300円までの範囲で無料化。			継続実施
		目標値	30人	30人	30人	30人	30人				
		実績値	32人	32人	26人	32人					
	【KPI】 ○子育て世代転出数 ○子育て世代転入数	目標値	50人	50人	50人	50人	50人			住民課	
実績値	25人	34人	36人	41人							

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
20 子育てに対する地域ぐるみでの支援体制の充実	★幼稚園、保育園の保育時間の延長 ・子ども若者相談支援事業（役場でのワンストップ対応化） ★子育て支援拠点整備事業	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 希望する園児には、午後1時から午後6時まで預かり保育を行っている。 子ども若者の多様な相談については、ワンストップ対応となるよう、関係各課が連携し対応に努めている。 【課題】 幼稚園教諭の確保が難しくなっている。 【R5取組内容】 ○子ども及び家庭並びに妊産婦の様々な相談について、実情の把握、情報の提供、関係機関との連携、調整連絡等、総合的な支援に努めている。 【課題】 ○児童虐待、不登校、貧困など子どもを取り巻くいろいろな問題に幅広く対応するため、職員の専門性をさらに高める。また、多種多様な関係機関とのスムーズな連携を目指す。 【R5取組内容】 【子育て支援拠点整備事業】 ・週2回（月・水）、一日3組を上限に保育園の給食提供を実施している。 【課題】 ・支援センターを知らない方への情報発信を工夫し、利用しやすいようにしていく。	引き続き継続する。 引き続き取り組む。 ・引き続き継続していく	教育委員会 子ども家庭総合支援センター 保育園	B
	【KPI】 ○幼稚園預かり保育児童数	目標値	85人	85人	85人	85人	85人		教育委員会	
		実績値	77人	98人	95人	98人				
	【KPI】 ○保育園入所者数と地域子育て支援センター利用者の内給食利用者数	目標値	235食	245食	252食	252食	252食		保育園	
		実績値	271食	257食	247食	247食				
【KPI】 ○未就学児童の増加者数	目標値	43人	45人	53人	53人	53人		住民課		
	実績値	85人	72人	73人	77人					
【KPI】 ○未就学児童世帯員の増加者数	目標値	116人	122人	128人	128人	128人		住民課		
	実績値	216人	212人	218人	219人					

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
21 特色ある教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> サッカーの小・中・高の一貫教育体制（徳島ヴォルティスとの連携） 板野高校の教育強化による進学校への推進 英語で特色ある教育環境づくり ★町独自の奨学金制度の継続と定住者への返済免除 学区制線引き廃止の働きかけ（全学区） リタイアメントの人材を活用した各児童館での放課後教育の充実 特別支援学級への教育環境の充実 						<p>【R5取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 返還の期間内（高校8年、大学10年）に板野町に住民登録を有し、かつ居住し、世帯に町税等の滞納がないとき、奨学金等の全部または一部を免除する。ただし、1年ごとに免除申請届が必要で、免除額は届出のあった1年分ごと。 新制度創設に伴い所得認定基準を緩和（H27までは生活保護基準の1.3倍→H28から1.5倍→H29から1.6倍） H28年度以降、毎年、貸与申請者は一定数おり、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。 高校または大学を卒業後、町内への定住やUターンをするきっかけとなっており、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。 R2年度の返還免除者8名。R3年度の返還免除者10名。R4年度の返還免除者10名。R5年度の返還免除者11名。 特別支援学級の担当職員が不足し、担当職員やその他職員の負担が増加している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請があっても、所得認定基準を超えているため不認定となってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続していく。 地元の中学校、高等学校へ募集案内のチラシを配付し、奨学金担当教諭と連携をとり、周知に努める。 多くの教諭に特別支援学級の担当となれるよう研修等で専門的知識を深めてもらう。また、支援員となれる職員の募集等検討する。 	教育委員会	A
	<p>【KPI】</p> <p>○町独自の奨学金制度における定住を理由とした返還免除数<再掲></p>	目標値	3人	3人	3人	3人	3人		教育委員会	
	実績値	8人	10人	10人	11人					

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
22 若者専用住宅整備	<ul style="list-style-type: none"> 既存町営住宅の若者向け住宅への改修 民間の建託事業に若者向けアパートの建築助成 立地環境を活かした住宅環境の整備（空き家を活用） ★他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応県産材を利用した住宅の整備 他市町村（県外）からの転入者の居宅新築等の補助金制度・税制度の優遇の創設 地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 既存の町営住宅改修については、令和4年度に第2団地9棟の外壁改修工事を実施したのみとなっており、若者向け住宅の改修は出来ていない。</p> <p>【課題】 近年は、民間事業者による宅地開発及び若者向けの賃貸住宅の建設が多数あり、町独自の改修工事は難しい。</p> <p>【R5取組内容】 （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 検討したが、町に見合う事業は無かった。</p> <p>【課題】 （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 地域おこし協力隊の任用</p>	<p>移住する若者転入者に対して、民間のアパートの建築助成制度を検討する。</p> <p>（地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） 本町に見合う事業で、地域おこし協力隊が必要と判断されれば、検討していく。</p>	建設課 産業課	B
	【KPI】 ○子育て世代（転入者対象）住宅整備数<再掲>	目標値	-	-	-	-	1棟		建設課	/
		実績値	-	-	-	-				
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
23 特定健診受診率	<ul style="list-style-type: none"> 健診対象の40歳の方への受診推進 30歳代健診や子育て世代の簡易血液検査、血糖相等を通じた若い世代の健康づくりの推進 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 健診開始時期に合わせ、受診勧奨通知の送付や、電話による受診勧奨の実施。集団健診実施(12月分)に合わせて11月には未受診者へ受診勧奨の再通知を実施。集団健診(年7回)時に30歳代健診の実施。</p> <p>【課題】 受診率は年々増加しているものの、県内では低い値にある。</p>	<p>今後も健診を受けやすい体制づくりを行い、健康づくりを行えるよう支援を行う。</p>	福祉保健課	A
	【KPI】 ○特定健診受診率	目標値	42%	42%	42%	42%	42%		福祉保健課	/
		実績値	31.3%	35.5%	36.5%	36.8%				

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
24 子ども家庭総合支援拠点の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★子ども家庭総合支援拠点の充実 ★子ども家庭支援全般に係る業務(実情の把握、情報の提供、相談等への対応、総合調整) ★要支援児童及び要保護児童等への支援業務 ★危機判断とその対応、調査、アセスメント、支援計画の作成等、支援及び指導等、児童相談所の指導措置委託をうけて町が行う指導 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連絡調整 ★適応指導教室の充実 ★子どもの居場所づくり ★少年の健全育成に関する業務 ★進路相談 ★子どもの貧困への対応 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少年育成室 白いポスト(雑誌等の回収) 1258件、不審者対応0件、進路相談等19件 ○こども家庭支援室 アウトリーチ131件、相談51件、同行支援84件、その他8件、ケース検討会議10件、実務者会議3件 ○教育支援室 通室日数(延べ人数)644日、開室日数242日、入室許可10人 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待、不登校、貧困など子どもを取り巻くいろいろな問題に幅広く対応するため、職員の専門性をさらに高める。また、多種多様な関係機関とのスムーズな連携を目指す。 	引き続き取り組む	子ども家庭総合支援センター	B
	<p>【KPI】</p> <p>○こども家庭総合支援拠点における：相談件数</p>	目標値	-	-	-	100件	100件		子ども家庭総合支援センター	
		実績値	-	-	96件	70件				

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
25 多世代交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が交流できる拠点の環境整備（あせび温泉と道の駅の活用） 養護老人ホーム入所者の拡充（県外高齢者移住促進） 介護予防事業・高齢者学級の充実 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】</p> <p><サロン活動> 地域の人同士のつながり深める自主活動の場(サロンの設置・運営等を支援する。 ・あせびサロン 10回開催 132人参加</p> <p><介護予防事業> 第1号被保険者を対象に生活機能の維持・向上を目的として、介護予防教室、出前教室を実施している。 ・介護予防教室 58回開催752人参加 ・出前教室 3回48人参加 ・音楽介護予防教室 1回27人参加 ・認知症フレンドリー講座 1回31人</p> <p>【R5取組内容】</p> <p><老人ホーム事業> 養護老人ホームの空室に県外高齢者の移住希望者に入居してもらう。県外からの入居者が1人あったが退居された。 R6.8.1現在県外入居者0人 R6.8.1現在入居者20人</p> <p>【課題】</p> <p><老人ホーム事業> R6.8.1現在入居者20人、県外からの入居者は1人あったが、ここ数年県内他市町村からの新規入居は0人。</p>	<p><老人ホーム事業> 引き続き関係機関への入居者依頼を継続する。施設のPRを検討する。</p>	福祉保健課 老人ホーム	B
	【KPI】 ○多世代交流サロン箇所数	目標値	—	—	—	1カ所	1カ所		福祉保健課	/
		実績値	0カ所	0カ所	0カ所	0カ所				
	【KPI】 ○徳島型CCRC構築への取組回数	目標値	—	—	—	—	1回			福祉保健課
	実績値	0回	0回	0回	0回					

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
26 消費喚起の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ★プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援 ★高齢者（75歳以上）タクシー助成券の充実 ★敬老年金の継続 	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 （プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援） 新型コロナウイルス感染症の影響によるエネルギーや食料品価格等の物価高騰を受けている方々に対し、プレミアム付商品券（プレミアム率30%）を発行することで、住民生活や地域経済の支援を図った。</p> <p>【課題】 （プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援） 商品券購入者のニーズ（購入費用が必要、煩雑な手続きが必要など）を十分に把握できていない。また、以前に実施した際の商品券の利用が大型店に偏っていたことから、大型店以外の商店にも、消費喚起の効果をどのようにもたらすかが課題である。</p> <p>【R5取組内容】 <タクシー助成券の概要> 75歳以上で要件を満たす高齢者がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、外出（買い物・通院）等を支援する。 年額12,000円（500円*24枚/1人あたり）</p> <p>【課題】 事業の周知を継続していく。利用者の現状・ニーズの把握が必要。</p> <p><敬老年金の概要> 75歳以上で要件を満たす高齢者に、敬老年金を現金給付し、長寿を祝福し、生活意欲を高め、福祉の増進を図る。 年額5,000円（1人あたり） 歴史のある事業で、高齢者は楽しみにしている。 現金手渡し給付を基本とし、高齢者の安否確認を兼ねる。</p>	<p>（プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援） 地域における消費を喚起し、地域経済の落ち込みを防ぐため、これまでの課題を踏まえ、引き続きプレミアム付商品券発行事業を実施することで町内商工業者を支援していく。</p> <p><タクシー助成券> 引き続き継続する</p> <p><敬老年金> 引き続き継続する</p>	産業課 福祉保健課	B
	【KPI】 ○プレミアム商品券利用枚数 ○タクシー助成券利用枚数	目標値	36,000枚	36,000枚	36,000枚	36,000枚	36,000枚		産業課 福祉保健課	
		実績値	143,378枚	218,993枚	159,623枚	193,912枚				
		目標値	10,000枚	10,000枚	10,000枚	10,000枚	10,000枚			
		実績値	9,773枚	15,071枚	14,358枚	21,136枚				

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
27	生活支援策の充実 ・生活困窮者の支援強化（生活困窮者相談所やセーフティネットの強化）	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 県社会福祉協議会から委託を受けた、町社会福祉協議会が実施 生活困窮者から相談を受け、 ①生活困窮者の抱えている課題を評価・分析(アセスメント)し、そのニーズを把握 ②ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう、自立支援計画を策定 ③自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整等の業務を行う。 【課題】 計画的な生活再建には、家計管理も重要となることから、家計相談支援をあわせて強化する必要がある	県社協の委託事業の有無に関わらず、生活困窮者の支援に努める	福祉保健課	B
	【KPI】 ○各機関・くらしサポートセンターの連携機関数	目標値	－	－	－	1カ所	1カ所		福祉保健課	/
		実績値	0カ所	0カ所	5カ所	5カ所				
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
28	シルバーパワーの活用 ・「（仮称）まちづくり協力隊」の編成	推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 元気な高齢者を対象に、ボランティアでまちづくり(奉仕作業等)に参加していただく方を募集し、社会貢献活動に参画することで、自分自身の生きがいや仲間づくりにつなげることを目的としていたが、新型コロナウイルスの影響により、住民への周知もできていない状況にある 【課題】 呼びかけて協力者が現れたとして、活動の場を提供できるのか（具体的な活動が未定のため）	事業のあり方を検討する必要がある	福祉保健課	B
	【KPI】 ○「（仮称）まちづくり協力隊」会員数	目標値	－	－	－	5人	5人		福祉保健課	/
		実績値	0人	0人	0人	0人				

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
29 住民参加による実行部隊の形成	・「板野町総合戦略評価委員会」の開催		推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 「産官学金労言」の各分野の有識者12名で構成される板野町総合戦略評価委員会を開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催)し、令和5年度の各事業について委員から評価及び意見をいただいた。 第二期総合戦略の計画期間が令和6年度までの5力年であるため、今年度中に次期戦略を策定する。	総務課	A	
	【KPI】 ○「板野町総合戦略評価委員会」の開催回数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回				
		実績値	1回	1回	1回	1回					
	【KPI】 ○「(仮称)板野ふるさと会」の参加者数	目標値	10人	10人	10人	10人	10人				
実績値		0人	0人	0人	0人						
	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
30 消費者被害防止やエシカル消費の浸透	★「新未来創造・消費者行政推進特区」事業		推進	→	→	→	→	【R5取組内容】 (見守り訪問) 随時実施 (エシカル消費の認知度) 講座実施等により、エシカル消費の推進を継続して行っている (小・中学校を対象とした授業実施) ・夏休みの課題を消費者被害防止等をテーマに作成 ・携帯電話等における消費者被害防止の啓発物を配布 ・小学生を対象にエシカル消費に関する講座を開催 【課題】 ・訪問における人員と時間の確保が困難である ・放課後に講座を開催したが、消費者教育を授業に取り込むことが難しい	令和元年度をもって特区事業は完了したが、特区期間で培ったものを活かし、今後も引き続き消費者被害防止やエシカル消費の浸透に努める。	産業課	B
	【KPI】 ○「要見守りリスト」に基づく訪問数	目標値	—	—	—	—	100%				
		実績値	0%	0件	0件	0件					
	【KPI】 ○「消費者被害防止のための地域見守り活動及び啓発活動等の強化」見守り訪問件数	目標値	300件	300件	300件	300件	300件				
		実績値	0件	0件	252件	477件					
	【KPI】 ○「エシカル消費の浸透」認知度	目標値	—	—	—	—	6割				
		実績値	推進	推進	推進	推進					
	【KPI】 ○「小・中学校を対象とした消費者教育」授業実施	目標値	—	—	—	—	9学年				
		実績値	0件	0件	0件	0件					

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
31 空き家の除去の推進	・空き家再生促進事業		推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 危険空き家に対して除却に対する補助金の周知をした。</p> <p>【課題】 相談等はあるが申請まで至る案件がなかった。</p>	令和5年度は補助金交付決定まで行くことがなかったが、相談件数は増えており、令和6年度は例年より多い除去件数となるため今後も周知を続けていきたい。	環境生活課	B
	【KPI】 ○空き家除去数	目標値	2件	2件	5件	5件	5件			環境生活課	
		実績値	0件	0件	1件	0件					
	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
32 木造住宅耐震診断実施促進	・木造住宅耐震化促進事業		推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 ・木造住宅の耐震診断に対して3.7万円の補助を12件 診断後の補強計画作成に対して6万円を8件 また、耐震改修に対しまして120万円の補助を4件 ICTを活用したスマート化工事に対して30万円の補助を9件 住宅建替の為の除去に対して30万円の補助を1件</p> <p>【課題】 耐震シェルター及び耐震バットの設置に対する補助件数、及び減災化事業の補助件数が0件であり、十分な周知が出来ていないので、今後の耐震化への意欲を再起するためにも、広報活動等に力を入れる必要がある。</p>	徳島県耐震化促進計画及び減災化の改訂により、町の計画についても改訂を行い、広報誌等による周知を行い、耐震性及び価格周知をして、耐震性の確認及び耐震化の実施、減災化の取り組みを促進する。	建設課	B
	【KPI】 ○耐震診断の実施回数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件			建設課	
		実績値	8件	8件	10件	12件					
【KPI】 ○補強計画の作成数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件			建設課		
	実績値	4件	4件	8件	8件						

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
33 ネーミングライツ制度の導入	・公共施設の維持管理、改修事業	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 現在、ネーミングライツ料については、将来的な改修に備えるため町の公共施設等整備基金へ積み立てている。また、残りの施設については町ホームページ及び広報誌において、ネーミングライツを募集している。</p> <p>【課題】 ネーミングライツについては、町ホームページ及び広報誌以外で模索する必要がある。</p>	引き続き継続する。、残りの施設についてネーミングライツの募集を積極的に推進する。	総務課	B	
	【KPI】 ○ネーミングライツ制度導入施設数	目標値	6件	6件	6件	6件	6件			総務課	
		実績値	4件	5件	5件	5件					
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
34 福祉施設のバリアフリー化	・高齢者等が施設を利用しやすくするため手すりや段差の解消等を整備	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 犬伏憩いの家耐震化工事(進行中)にあわせて、既存設備の更新や、建物内段差解消など、利便性向上に努めた</p>	多くの憩いの家で耐震改修を行い、地域住民の要望も受け改修していったが、今後経年劣化等による施設整備も必要となってくると考えられる	福祉保健課	A	
	【KPI】 ○バリアフリー化された福祉施設数	目標値	1件	1件	1件	1件	1件			福祉保健課	
		実績値	1件	1件	2件	1件					

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6					
35 福祉施設の耐震化	・耐震化された福祉施設数	推進	→	→	→	→	<p>【R5取組内容】 R4年度から継続していた下庄、西中富老人憩の家の耐震化工事が完了。犬伏老人憩の家の耐震化工事が進行中。</p> <p>【課題】 耐震化に伴う最低限度の工事であって、改修費用が高額となることから必要以上の工事ができないため、活用できる補助金等を模索する必要がある。</p>	予算状況を勘案しながら、耐震化を進める	福祉保健課	A	
	【KPI】 ○老人憩の家等の耐震化	目標値	1件	1件	1件	1件	1件			福祉保健課	
		実績値	1件	1件	2件	1件					